

GTEC通信vol.102

楽しく学ぶ英語からアカデミックな英語へ 発達の段階に応じた実践的な英語力を涵養

北海道登別明日中等教育学校

2007年に開校。開校以来、「郷土愛と国際性を身につけた生徒の育成」を目標に掲げ、国際理解・外国語教育に力を入れている。2009年に道立高校として初めてユネスコスクールへ加盟。2014年には文部科学省のSGHの指定を受け、「食糧問題」をテーマとした探究学習プログラムに取り組んでいる。

6年間を2年間ごとの基礎期・充実期・発展期の3期に分けて教育を展開している。1・2回生の基礎期は学校生活の基礎基本の確実な定着、3・4回生の充実期は主体的な学習態度の涵養、5・6回生の発展期は希望進路の実現に向け、個性や能力の一層の伸長を図ることを目標としている。

基本情報：公立、共学、普通科

規模：1学年約80名

主な進路：国公立大は、京都大1名、一橋大1名、東北大1名、電気通信大1名、横浜国立大1名、神戸市外国語大1名、北海道大2名、札幌医科大1名はじめ23名

(2016年度入試/既卒生含む)



取り組みのポイント

- CAN-DOリストをベースに4技能をバランスよく指導
- キャンプや研修など各学年で実践的なコミュニケーションの場を設定
- 大学入試への活用も踏まえて進路指導部主導でGTEC CBTを積極受検

取り組みの背景

同校では、開校当初から国際理解・外国語教育を前面に打ち出し、毎年のオープンスクールでも英語の模擬授業を実施するなど受検生に周知している。そのため、入学時から英語に対する意欲が高い生徒は多い。その同校が、もう一段ステップアップするためにチャレンジしたのが2014年に指定を受けたSGHであった。申請の経緯を知る英語科の勘野雅恵先生は、「将来の北海道のリーダーを育てたいという学校目標と、グローバルリーダーの育成をめざすSGHの理念には重なるものがあると感じています。また、SGHを通して国際理解教育の深化を図ることで、学校の特徴

がより鮮明になるのではないかと期待もありました」とねらいを明かす。

また、生徒の英語に対する意欲が高い反面、入学時の英語力には開きがあり、学年を追うごとに開いて行く傾向も見られていた。中には、英語によるコミュニケーションが得意な分、文法がきちんと身につけていないにもかかわらず「自分は英語ができる」と過信してしまう生徒もいる。このような生徒の状況から、物おじせず英語を使える力を身につけると同時に、大学入試にも対応できるアカデミックな英語力を鍛えていくことが課題となっている。

コミュニケーション中心の授業を 6年間一貫して実施

同校の英語教育のベースとなっているのが、3年ほど前から活用しているCAN-DOリストである（資料1）。4技能の到達目標、GTEC for STUDENTS等の外部試験の目標、授業で使う主なアクティビティを、1～6回生の学年ごとに記している。

こだわりのポイントは、4技能の並びだ。一般にアウトプット重視の流れから「話す、書く、聞く、読む」という順に並べるリストが多いが、同校ではインプットからアウトプットへという流れを意識し、リスニング→スピーキング、リーディング→ライティングという順番で身につけさせたい力を示している。

このリストをベースに、同校では1回生（中学1年生）から4技能をバランスよく身につける授業を展開している。

1・2回生は、英語を好きにさせることを意識している。1回生から週1回の英会話の授業を設け、ALTがオールイングリッシュでコミュニケーションの楽しさを伝える。通常の授業でも、できるだけペアワークやグループワークを取り入れて、間違ってもいいからとにかく話すという前向きな姿勢を養う。これについて、2015年度に赴任した小島啓一先生は、「3回生より上の生徒を指導して感じるのは、英語のコミュニケーションにおいてバリアをつくらないところ。外国人に対しても物おじしないし、ネイティブの英語もかなり聞き取れます。何より、自分が伝えたいと思うことを伝えようとする態度が身につけていることに驚きました」と話す。

ALTによるコミュニケーション中心の授業は3回生以降も続く。4回生（高校1年生）英語表現Ⅰの2単位と5～6回生（高校2～3年生）英語表現Ⅱの4単位をそれぞれ分割し、一方は文法を軸としたインプット中心、もう一方はALTによるアクティビティ中心の授業を展開している。英会話だけでなくディスカッションやエッセーなど、よりレベルの高い取り組みが、生徒の英語力の伸びや発達段階に応じて取り入れられる。学年が上がるにつれて正確に文法を学ぶ時間を増やしていく一方、間違ってもいいから伝え合おうとする姿勢や意識も6年間一貫して大切にしているのだからである。

初聴きのリスニングで 英語の処理能力向上を図る

英語に物おじしない生徒が多い一方、それが英語力に対する過信につながることも少なくない。「コミュニケーションが得意な分、きちんとした文法や構文、語彙を使って話したり書いたりする力が追いついていない生徒も見受けられます。大人が使うような成熟した表現力を身につけさせることが3回生以降の課題です」（小島先生）。

3回生以降は、骨太の英語力をつけるために文構造の理解や内容把握を重視する。小島先生の6回生の授業を例に授業の流れを見てみよう（資料2）。

まず、初出の単語の意味をおさえたいので、予習なしで教科書本文のCDを聴かせる。何度か聴かせた後、ペアワークでTrue or Falseの課題に取り組み、TかFか理由を英語で話し合う（習熟度によっては日本語の場合もある）。その上で初めて教科書の本文を読む。「私の授業では、初見で本文は読ませません。読むのは自分のペースでできますが、聴く場合は相手に合わせて英語を素早く理解する力が求められます。私の授業ではCDをかける時もハイスピード読みのトラックを聴かせます。聞く力を高めることで英語の処理速度が高まれば、長文を素早く読む力も身につけることができると考えています」（小島先生）。

その後は、ペアワークを行い1人が読んだ英語をもう一人が耳で聞いて繰り返す。あるいは日本語を逐次通訳のように英語に直したり、本文を見ずにCDで聴いたままを話したり、さまざまなバリエーションを盛り込みながら4技能を使った活動を繰り返す。最後は、内容に関わる質問を教科書を見ずに英語で答えるペアワークや、本文中の動詞や前置詞を正しい形に直す課題に取り組み、内容理解を深める。

教科書は全員がコミュニケーション活動に取り 組める易しめを使用／上位層には特別課題も

以上が1レッスンの流れで、おおよそ授業2コマを使って行っている。予習は授業内で行う単語や語法の小テスト対策のみで、教科書本文の予習はさせない。小島先生の授業では毎回、授業の冒頭で簡単な小テストがある。本文で使用された

単語の確認、指定の語数で本文の内容について英答するテストなどを行い、定着度を確認しながら進んでいくのである。

授業で使うハンドアウトは英語科全体で共有しており、各学年の英語担当は、目の前の生徒の状況に応じて細部を変えて使用する。そのため、教師によって授業の進め方が大きく変わるようなことはない。それぞれの教師がマイナーチェンジしたハンドアウトも教科内で共有して指導改善に生かしている。

学力幅が広い中でも、生徒全員が積極的にコミュニケーション活動に取り組めるよう、教科書はどの学年も易しめのものを使用している。上位層の生徒は教科書を早めに終わらせ、レベルの高い課題に取り組ませる。たとえば、小島先生の6回生のクラスでは、英文記事を読ませて、何が書かれているのかをペアやグループで話し合わせ、週末課題として記事についてのサマリーやオピニオンを書かせている(資料3)。また、勘野先生の4回生のクラスでは、帯活動としてスピーチを行ったり、教科書に関連する内容(フードカルチャーなど)について調べさせ、英語でプレゼンテーションを行わせたりしているという。

発達段階に応じて実践的なコミュニケーションの場を設定

教室で身につけた英語力を実践の場で生かす機会も、学年ごとに設けられている。2回生では1泊2日のイングリッシュ・キャンプを実施し、グループごとに英語による自作の英語劇を披露する。ALTとの交流は英語力を磨くチャンスだ。3回生は福島のブリティッシュヒルズに赴いて2泊3日の英語研修を実施。外国人とコミュニケーションをとりながら、イギリスの歴史を学んだりスポーツや調理実習を行ったりする。4回生は地域の小学校で外国語活動のアシスタントを務める。4回生全員が各6~7名、12グループに分かれ、ゲームや歌などを交えながら英語の授業をサポートする。

集大成となるのが5回生の海外研修である。2015年はカナダとアメリカに赴き、2泊3日のホームステイや大学・姉妹校訪問を行った。姉妹校交流では、生徒1人につきバディ・スチューデント1名がつき、一緒に授業を受けたり生徒が考案したゲームを行ったりして交流を深めた。大学訪問では学生とディスカッションを行い、大学・学部を選んだ理由、将来の夢などについて

話し合った。「現地ではブリティッシュ・コロンビア大学に入学した日本人学生とも交流し、大きな刺激を受けました。ホームステイや高校生との交流を通して、英語が通じたという自信を得て帰って来た生徒が多かったのも大きな収穫です。その一方、もっと勉強しなければと自省する生徒も多く、どの学力層の生徒も刺激を受けている様子がうかがわれました」(小島先生)。

進路指導部主導でGTEC CBTを受験

同校ではGTEC for STUDENTS及びGTEC CBTを実施しており、前者は英語科、後者は英語科と連携しながら進路指導部が統括している(資料4)。

GTEC CBTを進路指導部が統括する背景には、求められる人材像の変化があると、進路指導部の神田耕也先生は語る。「SGHで求められるのは、答えのない問いに対し、客観的な根拠を持って答えを創り出す力、他者と協働する力、そしてグローバルなコミュニケーション能力。それは現在進行中の入試改革で求めている生徒像と同じです。社会が必要とする人材像が変わり、その中で英語の4技能の向上が求められている以上、学校全体で取り組むべき課題として4技能の検定試験を位置付けるべきだと考えました」。

4技能の検定試験の中でも、GTEC CBTを選んだのは、さまざまな検定試験の中で、4技能のバランスがもっとも良かったという実感があったからだ。4技能を測る他の検定に比べて料金が安く、公立高校として推奨しやすいのも理由の1つだった。他の検定と比較しながら、GTEC CBTについて保護者に説明すると、保護者も納得感をもって子どもに受検を勧めるようになったという。多くの国公立大入試で、GTEC CBTが活用されているという点も、保護者の背中を押す要因となっている。

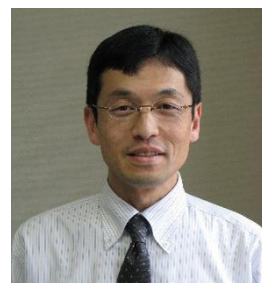
同校では、GTEC CBTの良さを学年集会や保護者会を通じて生徒・保護者全体に伝えている。現在1回につき50名程度が受験しており、今後も増加していく見通しという。「高校生が受けやすいGTEC CBTの大学入試への採用が広がれば、高大接続もより良いかたちで進むのではないのでしょうか。今以上にGTEC CBTが活用されることを期待しています」(神田先生)。

コミュニケーション中心の授業に加え、1回生からの継続的な英会話の授業、実践的な英語活用場の設定などにより、英語によるコミュニケーションに物おじしない生徒が増えていることが第一の成果だ。また、海外研修で大学のキャンパスを見て、海外の大学に行きたいという夢を膨らませる生徒も現れつつあるという。GTEC for STUDENTSのスコアも全国平均以上の伸びをみせている(資料5)。

一方、課題は、より高次のコミュニケーション能力の育成である。プレゼンテーションやスピーチなど、あらかじめ準備して臨める取り組みは得意な生徒が多い反面、その後の質問に対しては、思うように考えを述べられない生徒が多いという。また、SGHの課題研究などで、研究内容の発表者に対して、適切な質問を投げかけるのが苦手な生徒も少なくない。「準備していないコミュニケーションに対して、対応できる力をつけることが今後の課題。英語力のいっそうの向上とともに、聞く力や考える力の育成にも力を入れ、アカデミックな場でも活用できるコミュニケーション能力を身につけさせたいと思っています」(勘野先生)。



(勘野先生)



(小島先生)



(神田先生)

【資料1】CAN-DOリスト

Noboribetsu AKEBI Secondary School can-do statements 2016

GRADE	LISTENING	SPEAKING	READING	WRITING	外部試験等	主なアクティビティ
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ある程度の長さで複数の話題が含まれた話を聞いて、主題や重要な情報を理解できる。 ○教科書で扱われた話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書で読んだ話題などについて、理由を交えながら自分の意見を話すことができる。 ○英語で読んだり聞いたりした話題について、自分の意見を提示することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書本文について、文章構成や重要な点を意識しながら読むことができる。 ○英語で書かれた文章について、書き手の意図などを理解して、自分の意見と比較しながら、文章を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の関心のある話題や身近な話題について、詳しく記述することができる。 ○自分の意見について理由を提示したり、自分が重要だと思う点を相手に理解させることができる。 	【英検】 2級 25% 準2級 80% 【GTEC】	Essay Writing Discussion Listening Interaction NEXT STAGE キクタン
5	<ul style="list-style-type: none"> ○主題のはっきりした話について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら、他人の意見を聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分に馴染みのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を、適切に話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら、読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら、意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。 	G 6 10% G 5 30% G 4 70%	海外見学旅行 1-minute Speech Essay Writing Interview Discussion vintage ユメタン
4	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的な会話などの英語の短い話ややりとりを聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズにある程度配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分に馴染みのある話題について、ある程度英語で説明することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、英語でプレゼンテーションすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の体験と対比しながら読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の興味ある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。 ○授業で与えられたトピックについて、自分の意見をまとめて書くことができる。 	【英検】 2級 10% 準2級 60% 【GTEC】 G 5 20% G 4 60% G 3 90%	小学校外国語活動支援 1-minute Speech Essay Writing Interview Show & Tell vintage ユメタン
3	<ul style="list-style-type: none"> ○英語で行われる短いやりとりを聞いて内容を理解できる。 ○ネイティブスピーカーがスピードやポーズなどにより配慮して話せば、おおよその内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTやその他のネイティブの語学指導者と自分のことなど、馴染みのある話題について、英語で短いやりとりができる。 ○基本的な表現を用いて、授業で与えられた場面に応じたりやりとりを英語で行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単純な英語で書かれた文章の内容を、大まかに理解できる。 ○難しい英語で書かれた物語文のあらすじを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物事を説明する文章を英語で書くことができる。 ○他人に向けた簡単な内容の文章を英語で書くことができる。 	【英検】 準2級 30% 3級 100% 【GTEC】 G 4 30% G 3 50%	留学研修旅行 1-minute Speech English Journal ユメタン
2	<ul style="list-style-type: none"> ○いくつかの指示が組み合わされた英語や活動の手順について理解できる。 ○簡単な対話を聞いて内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活での出来事について、簡単な説明を英語で述べるができる。 ○聞き手を意識して、感情を込めて英語で話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5W1Hを意識しながら、教科書の本文などある程度まとまりのある英文について、内容を把握できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の将来について、ある程度の分量の英文を書くことができる。 ○他人に向けたメッセージを英語で書くことができる。 	【英検】 3級 70% 4級 100% 【GTEC】 G 3 15% G 2 70%	ENGLISH CAMP Recitation Contest Presentation Skit E-learning ユメタン
1	<ul style="list-style-type: none"> ○英語の簡単な指示を理解できる。 ○単純な文でやりとりされる定型的な質問を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や家族、友人のことについて、簡単な英語で紹介することができる。 ○定型的な質問について応答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5W1Hを意識しながら、教科書の英文などについて、内容を把握できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や家族、友人のことを紹介する簡単な英文を書くことができる。 ○日常の出来事などについて紹介する英文を書くことができる。 	【英検】 3級 20% 4級 60% 【GTEC】 G 2 30%	RECITATION CONTEST Skit E-learning ユメタン

【資料2】授業内で使用しているプリント

Lesson 3 Eco Tourism: What to Do and Where to Go

Part 2 What does Ms. Hasegawa do as an ecotour guide?

Supplementary Aids

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. guide | ガイド |
| 2. the Big Island, the Island of Hawaii | ビッグアイランド、つまりハワイ島 |
| 3. Hakalau Forest | ハカラウ・フォレスト |
| 4. locate O | Oを突き止める、Oを(ある場所)に置く |
| 5. located on O | Oにある |
| 6. Mauna Kea | マウナケア山 |
| 7. Hawaiian honeycreeper | ハワイミズスイ |
| 8. once s v | いったん sがVするど |
| 9. participant | 参加者 |
| 10. binocular | 双眼鏡 |
| 11. certainly | きっと |
| 12. fascinate 人 | 人を魅了する |
| 13. become fascinated with O | Oに魅了される |
| 14. indigenous | 固有の |
| 15. indigenous to Hawaii | ハワイ固有の |
| 16. why they have to go to such a high area | なぜ彼らがそんなに高いところに行かなければいけないのか |
| 17. used to do | かつては doしたものだ(今は違う) |
| 18. decrease in number | 数を減らす |
| 19. disease | 病気、病 |
| 20. mosquito | 蚊 |
| 21. the disease carried by mosquitoes | 蚊によって運ばれる病気 |
| 22. cask | 貯蔵樽 |
| 23. species | 種 |
| 24. survive | 生きのびる、生き残く |

● True or False

- 1) In Hakalau Forest, you can see the birds that live only in Hawaii. ()
- 2) Hawaiian honeycreepers can live in the lower areas with mosquitoes. ()
- 3) Many kinds of mosquitoes have disappeared because of Hawaiian honeycreeper. ()

● 日本語と同じ意味になるように、()内には適切な語を入れましょう。

- 1) 彼は野菜を料理するだけでなく、育てています。
He () () cooks vegetables but () grows them.
- 2) 私は祖母に会いに行っただけでなく、祖父のお墓参りもしました。
I not () went to see my grandmother () () visited my grandfather's grave.
- 3) 彼女はその役を演じただけでなく、映画の歌も書きました。
She () () played the role () () wrote the songs in the movie.

Hasegawa Kumiko is an ecotour guide / on the Big Island, / the Island of Hawaii. //
One of the activities in her tour is bird-watching. //
She usually takes tourists to Hakalau Forest, / which is from 1,700 meters to 1,900 meters high, / located on Mauna Kea. //
There / they can see native birds / // like Hawaiian honeycreepers. //
Once the participants see the birds with binoculars, / they will certainly become fascinated with these cute and beautiful birds / indigenous to Hawaii. //
On her ecotour, / tourists not only enjoy bird-watching / but also learn about Hawaiian indigenous birds. //
For example, / tourists will learn / why they have to go to such a high area / to see Hawaiian honeycreepers. //
They used to live in the lower areas. //
However, / they decreased in number. // Why? //
One reason is the diseases / carried by mosquitoes. //
There were no mosquitoes in Hawaii / until a ship from Central America brought them in its water casks / in the early 19th century. //
There used to be more than 50 species of Hawaiian honeycreepers. //
Today, / only one third of them have survived / and live in higher areas, / where there are no mosquitoes. //

高谷川久美子さんはエコツアーガイドです。
ビッグ・アイランド、つまりハワイ島の。
彼女のツアーの活動のひとつはバードウォッチングです。
彼女はいつも旅行者をハカラウ森林に連れていきます。
それは高度1,700メートルから1,900メートルあります
マウナケア山の。
そこでその土地固有の鳥を見ることができま
ハワイミズスイのようです。
ひとたび参加者が双眼鏡でその鳥を見ると、
彼らはこのかわいくて美しい鳥に確実に魅了されるで
しょう。ハワイ固有の。
彼女のツアーでは、旅行者はバードウォッチングを主として学びますが、
ハワイ固有の鳥たちについて学びます。
たとえば、旅行者は学びます
なぜそんな高所に行かなければならないのかを
ハワイミズスイを見るために。
そのあたりに、以前はもっと低地にすんでいました。
しかし、数が減ってしまったのです。なぜでしょうか。
ひとつの理由は病気です。蚊が運んできました。
ハワイには蚊がいまなかった
中央アメリカから来た船が水筒に入っていた蚊を運ん
でくるまで 19世紀初めに。
昔は、ハワイミズスイは50種以上ありました。
今日、その3分の1だけが生き残り、
(昔よりも)高い場所に生息しています。そこには蚊が
いないのです。

● Questions

1. What can tourists see in Hakalau Forest?
2. Why are the tourists fascinated when they see honeycreeper?
3. How many species of Hawaiian honeycreepers were there in the past?
4. Why do honeycreepers live only in Higher areas now?
5. Do you know any animals in Hokkaido that disappeared because of human activities?

Hasegawa Kumiko (be) an ecotour guide on the Big Island, the Island of Hawaii. One of the activities in her tour (be) bird-watching. She usually (take) tourists to Hakalau Forest, which (be) from 1,700 meters to 1,900 meters high, (locate) on Mauna Kea. There they (see) native birds like Hawaiian honeycreepers. Once the participants (see) the birds with binoculars, they (certainly become) (fascinate) with these cute and beautiful birds indigenous to Hawaii.

On her ecotour, tourists not only (enjoy) bird-watching but also (learn) about Hawaiian indigenous birds. For example, tourists (learn) why they (go) to such a high area (see) Hawaiian honeycreepers. They (live) in the lower areas. However, they (decrease) in number. Why? One reason (be) the diseases (carry) by mosquitoes. There (be) no mosquitoes in Hawaii until a ship from Central America (bring) them in its water casks in the early 19th century. There (be) more than 50 species of Hawaiian honeycreepers. Today, only one third of them (survive) and (live) in higher areas, where there (be) no mosquitoes.

【資料3】上位者向け課題

Japan's Revered Shrine

Ise-Shima, which will host the Group of Seven summit next month, is home to Japan's famous Ise Jingu Shrine. Among the country's Shinto shrines, it's one of the most revered.

Ise Jingu has a history of more than 2,000 years. It's composed of 125 shrines, surrounded by deep green forests and rivers.

Japanese people have long believed that deities exist everywhere. They place value in respecting and living in harmony with nature.

The most sacred shrine in the precinct is where the goddess of the sun, Amaterasu-Omikami, is worshipped. Cameras aren't allowed in, but we can see people going up the stairs to express their thanks to nature and their well-being.

"It's really, really nice. I was very excited about it. I really love it," says one Brazilian tourist.

"Such a pleasure to walk around and enjoy the trees, the waters and the shrine," says an Australian visitor.

The main shrine looks new despite Jingu's long history. That's because of Shikinen Sengu, a ritual that dates back more than 1,300 years.

Every 2 decades, an identical replacement is built next to the existing building. The ritual is based on the hope that deities would rejuvenate their power by residing in new buildings.

Near Ise Jingu, there is a town to welcome and accommodate the worshippers. People working in the town start each day by offering prayers toward Jingu. Everything in the town represents a different period. Even the convenience store looks like it's from another era.

The area is a reproduction of what the town looked like back in 19th century. People can also enjoy traditional food, crafts and entertainment.

Rice cakes topped with sweet bean paste are one of the best-known specialties in Ise. They've been around for more than 300 years.

"We started to practice English once a month to prepare for the summit," says one local shop worker.

News of the G7 summit is being linked to a spike in tourism. The prefecture saw one of the highest growth rates of foreign visitors in Japan last year.

The town responded to the increase by making communication sheets in English, Korean and Chinese - something people hope will continue to come in handy for years to come.

"We have welcomed so many different people to Ise in its long history," says Yoriko Maeda, chairperson of the Ise Ohara Town Meeting. "We hope visitors from overseas enjoy something quaint of this old town and come back again."

People in Ise-Shima hope the G7 summit will put their town on the map, and draw more visitors to the sacred place for a long time to come.

Summary of the news

Your opinion about the news

Class - Number Name

【資料4】英語外部検定試験に関する進路指導部発信資料

平成 27 年 5 月
進路指導部

大学入試改革やグローバル関連としての英語外部検定の活用について

新カリキュラム以降に伴い、今年度 6 回生の大学入試から英語外部検定（TOEIC、TOEFL、IELTS、GTEC CBT、TEAP 等）の活用が広がってきています。

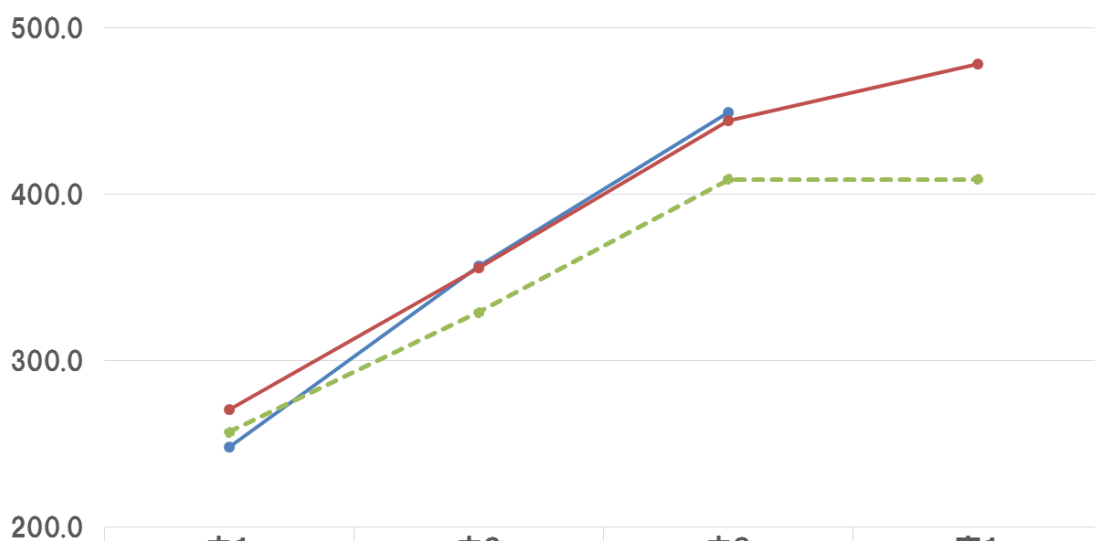
この流れの中で、注目していただきたいのが、英語外部検定のスコア等が「選考要件」ではなく「出願資格」になっている募集単位が増えてきていることです。この流れは首都圏私大が先行して進んでいます。国立大学においても進んできています。（ベネッセから入ってきている情報では、東京海洋大学や首都大学東京で推薦・一般を問わず英語外部検定のスコアが求められるようです。）

6 月に各大学の募集要項が一通り出そろおうかと思いますが、生徒が受験するであろう大学の募集要項を必ずご確認ください。

なお、本校では年間行事予定として 9 月 13 日（日）に札幌受験会場にて GTEC CBT の受験を予定していますが、その他、TEAP 等大学受験用の外部検定についても、必要に応じてご紹介していきます。

【資料5】GTEC for STUDENTS スコア推移

GTEC for STUDENTS スコア推移



	中1	中2	中3	高1
2016年度高1	248.1	357.0	448.9	
2016年度高2	270.5	355.6	444.4	478.0
全国平均	257.0	329.0	409.0	409.0